

有害鳥獣対策は

須恵町の有害鳥獣対策および課題について、地域振興課からの説明および、糟屋郡猟友会須恵支部に赴き現状視察を行いました。

有害鳥獣による被害は

須恵町では、イノシシの被害が顕著で、年間を通じて水稻、野菜などの農作物被害が発生しています。近年ではアナグマの被害も増えています。

防止対策は

銃器および箱ワナによる捕獲などを糟屋郡猟友会須恵支部に委託契約しており、須恵町有害鳥獣被害対策実施隊16名が活動を行っています。

令和4年度実績で、罾にかかったイノシシは70頭、シカが11頭、その他アナグマが3年間で30頭捕獲されました。

補助金は

須恵町有機農業推進対策事業費

今後の課題

および有害鳥獣被害防止対策事業費補助金交付要綱に基づき、有害鳥獣から農産物を保護する防護柵設置に要する経費に対し、生産者へ補助金を交付しています。(令和4年度実績10件で26万7千円)

●有害鳥獣の捕獲は猟友会によるものであるため、農業者も自衛手段として箱ワナでの捕獲ができるよう、罾の免許取得について情報提供を行っていく必要があります。

●高齢化により捕獲従事者が減少しており、従事者の確保も課題となっています。

●防護柵設置については、被害を減少させるため、事業内容を周知し、防護柵設置を推進していくかなければなりません。

調査を終えて

●今後、有害鳥獣の被害件数は増えてくると予想されます。地域振興課の職員は大変だと思いますが、猟友会との連携や相談の対応をお願いしたいと思います。

●イノシシは学習能力が高く、箱ワナにかかった仲間を見たりすると箱ワナに近づかなくなり、捕獲できなくなります。代わりに、括りワナを仕掛けてあります。ですが、イノシシが掛かった時は、仕掛けの太いワイヤーを切る程に暴れるため、猟銃で殺傷しないと大変危険です。また、罾を仕掛けている時にばねが外れて、大ケガをされた方がいるほど、大変危険な罾です。

このように危険な仕事で、有害鳥獣を防いでいただいている猟友会の皆さまの安全を願うとともに、感謝申し上げます。



括りワナの説明



箱ワナの説明

委員会レポート

文教厚生委員会

令和6年5月2日(木)

ランチサービスを調査

中学校のランチサービスを利用する家庭より、注文方法などの利便性を求める声があり、須恵東中学校の視察を行いました。
ランチサービスの概要、配膳状況・昼食時間の生徒の様子・提供状況・献立内容・量や味などの調査、試食を行いました。

ランチサービスとは

小学校の食卓形式に対し、中学校ではお弁当箱形式を取り入れ申込者に対し提供します。委託業者が作った安全で栄養バランスがとれたお弁当です。

契約内容は

令和5年度より「はたなか」と3年間の業務委託契約をしており、1食あたり457円。保護者負担300円で、差額157円を町が負担しています。

注文の流れは

前々月の28日までに1カ月分の注文(前々月の10日頃に献立表を家庭に配布。メニューやアレルギー等を確認し20日頃までに利用

申込をする。支払いは、前月の3日に校納金と併せて口座引き落としとなります。

美味しくないって噂、実際はどうなの

校長先生にお聞きすると、「利用者から美味しくないとの声は出た事はないです。女の子はご飯の量が多い。男の子はパンの日は少し物足りないとの声があります」との回答でした。ランチサービス利用者の推移は、25%〜30%で、全校生徒の約3分の1が毎月注文しています。

ペコフリー等のアプリ導入の検討は

アプリを導入すると、当日のアプリでの注文で、ご飯の量も選べ、料金の支払いも、事前にチャージしたところからの引き落としとな

衛生面は

室温、湿度が管理された配膳室内で基準値を温かい物は70度程度、冷たい物は10度以下とし、提供直前まで専用のコンテナカートで温度管理されています。

視察を終えて

ランチサービスは、配膳時間が短時間で、約20分間の昼食時間には、最適です。弁当以外の生徒はランチサービスを利用している状況もわかりました。

試食では、温かい食品は温かく、冷たい食品は冷たい状態が保たれ、栄養面も考慮されており、デザート付きで美味しかったです。

ペコフリー等のアプリの導入は費用対効果も考慮し、今後、検討していく必要があると考えます。



試食したランチサービス



ランチサービスの説明